

チャペル週報

No.12

2022.7.4~7.8

それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。
なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

(コリントの信徒への手紙二 12章 10節)



時計台 (西宮上ヶ原キャンパス)

関西学院宗教センター

変革あってこそその伝統

丸楠 恭一

関西学院に奉職して10年余、日々の職務の中で、改めて「伝統」というものを考えさせられる場にしばしば直面する。それはたいてい、いわゆる伝統に根ざす何ものかを変革することを求められる際においてである。恐らく、この2年余にわたるコロナ禍の中で、これまで変えるべきでないと考えられてきたことのいくつかについて変革を迫られ、それが結果としてある程度の「成果」をもたらしたという事実を目の当たりにしてきたことが、こうした傾向に拍車をかけているのであろう。

今さら言うまでもないが、伝統とは「変わらないもの」と同義ではない。伝統すなわち「長い歴史を通じて培い伝えてきたものないしその精神的支柱」は、その過程でしばしば変容する。にもかかわらず私達は、何かを変えないことを選択する際に「伝統」ないしその類語を用いがちである。その大きな理由の一つはおそらく、私達が日常の論理の中で2つの概念を対照して物事を論ずる際に、対照語を対立・背反的にとらえがちだからであろう。すなわち、「伝統」なる語が「変革・革新」と対立的に捉えられ、何かを改め新しくすることを避ける際に用いられてしまうのである。長い歴史を誇る社会・集団ほどその傾向が顕著であろう。

しかし、対照語は常に対立・背反関係にあるわけではなく、しばしば相補的並立的にも捉えられる。同じ言葉の対についてみても、「紅・白」「男性・女性」「西洋・東洋」「天・地」「秩序・混沌」などの語はいずれも、対立的にも相補的にも捉えられる。「伝統」と「変革」も然り。変革し続けるからこそ、長くその命脈を保ち、伝統を培っている幾多の事例をみれば、それは自明であろう。実際、この相補の原理は日本に深く根付き、それがこれまで私達の社会を変革に導いても来た。

変革によって伝統が損なわれることもあるだろうが、変革が伝統をさらに確かなものとすることも少なくない。変わり続けることができるからこそ、変わらない何かが確固たるものとなる。伝統の真の重みとはそこにあるのであろう。関西学院にとって、その伝統をさらに確かなものとするためにこそ変革せねばならないことは何なのか。日々自問する毎日である。

(国際学部教授)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

7/ 4 月

神 説教学演習A 寺崎 真
経 李 相勲 (宣教師)
人 木原 桂二 (商学部宗教主事)
建 荒木 美香 (建築学部准教授)

5 火

神 私の出会い⑬ 土井健司(神学部長)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 私にとっての「チャレンジ」① 打樋 啓史 (宗教主事)
法 緋本 侑梨子(法学部4年)
経 オルガンコンサート① ~平和への祈り~ 坂倉 朗子 (関西学院オルガン講師)
商 山口 隆之 (商学部教授)
国 平林 孝裕 (宗教主事)
理・工・生環 中井 珠恵 (市立川西病院 チャプレン・カウンセラー)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
教 2021 年度教育学部アドヴェント・チャペル聖歌隊より学生有志

6 水

神 鳥居 司(日本基督教団 御影教会牧師)
社 音楽チャペル ウィメンズ・グリークラブ
法 大宮 有博 (宗教主事)
商 木原 桂二 (宗教主事)
人 今井 小の実 (人間福祉学部教授)
国 小林 敏男 (国際学部教授)
理・工・生環 学生オルガニストによる音楽チャペル
教 泉 昭太郎 (教育学研究科 M2)

7 木

神 ボランティア活動支援センター
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 私にとっての「チャレンジ」② Vivian Bussinguer-Khavari (社会学部准教授)
法 東 よしみ(神学部准教授)
経 李 善恵 (宣教師、人間福祉学部教授)
商 木原 桂二 (宗教主事)
人 筒井 信行 (日本キリスト教団 吹田教会牧師)
国 Eun Ja Lee (宣教師)
総 宮川 雅充 (総合政策学部教授)
聖和 松隈 協 (高等部宗教主事)

8 金

神 東 よしみ(神学部准教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟木 讓 (宗教主事)
院 平和とは⑤ 井上 智 (宗教センター宗教主事)
理・工・生環 Christian Triebel (KSC 宣教師)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)

7月8日(金) 祈りのとき

李 相勲 (宣教師、経済学部専任講師)

Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター (shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ

①メールアドレス②お名前③所属④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信が始まりました。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。今後も月1回程度で更新されていきます。



<https://youtu.be/CFjCieeAvec> (最新の動画)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ (HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。どなたでもご自由にご参加ください。

(17:50～18:20 1405教室)

主題：この一冊との出会い 7月7日(木) 嶺重 淑 (大学宗教主事)

主題：学期末にあたって 7月14日(木) 打樋啓史 (宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)、午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

7月10日(日) 10:00～11:00

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では恒例のヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

7月7日(木) 関西学院交響楽団(管楽アンサンブル)

7月8日(金) 関西学院交響楽団(弦楽アンサンブル)

7月15日(金) 関西学院聖歌隊

いずれも12時45分～13時15分

会場：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催：宗教センター・宗教音楽委員会

●第1回 教育研究部サロン「キリスト教と関西学院と私」のご案内

今回は村上一平理事長をお迎えし、キリスト教や関西学院との関わりを打樋啓史宗教総主事との対談形式で語っていただきます。参加者との懇談も交えて進めてまいりますので是非ご参加ください。

お話：村上 一平(関西学院理事長)

司会：打樋 啓史(関西学院宗教総主事)

日時：2022年7月15日(金) 17:10～18:40

会場：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催：関西学院宗教活動委員会

※対象は関西学院教職員と学生です。

※対面で実施しますが、Zoomでの参加も可能です。ご希望の方は

<https://forms.office.com/r/MpfxBCG4ck> へお申し込みください。

QRコードはこちら→



●ボランティアに関心がある皆さんへ(ヒューマン・サービス支援室からお知らせ)

単発のボランティアや継続して関わるボランティア団体・サークルの紹介をしています。

[ボランティア参加までの流れ]

https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/c_volunteer_m_001740.html

[相談予約・お問い合わせフォーム]

個別にボランティアの紹介や相談対応をしています。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

